

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援助 機能	安全・衛生の確保	あいさつ、手洗い、うがい トイレの指導、出欠の確認	・「おはようございます」「ただいま」また、来館者への「こんにちは」「さようなら」などの基本的なあいさつは、都度の声掛け指導の効果により、ほとんどの学童ができるようになった。 ・手洗い、マスクの着用は、新型コロナウイルス感染症による規制は緩和したが帰館時やおやつ・お弁当の前など、手洗い・うがいをするよう職員による声掛けを行った。 ・トイレのスリッパの脱ぎ方・そろえ方指導は今後も繰り返し、継続していく。 ・居残りなど下校が遅い時や、学校の町別集会時、また日常の出欠管理は、学校や家庭と密に連絡を取りながら、確認できた。 ・うえぶさくら及び送迎時の対面相談を通じて、各家庭の保護者の方と連絡を取り合い、児童たちの様子を共有することができた。 ・気温や体調に合わせて自分自身で衣服を着替えたり、調整したりするように意識付けた。 ・体調に変化があった時には、職員にすぐに伝えるようにすることで自分の健康管理を促した。 ・決まった子どもが頻繁に忘れ物をする。また、学童生活に慣れてきた頃に連絡帳やタオル等の忘れ物が増え、繰り返し指導を行った。また、事前に破棄告知をして、期日が済んだものから破棄していくなど今後も、子ども・保護者へ必要物の確認・管理の徹底を習慣づけられるように工夫していく。 ・布巾等の除菌と消毒を徹底し感染症の拡大を防いだ。バラエティー豊かなおやつを提供できた。
	健康の管理・情緒の安定	学童生活の中での健康管理指導 持ち物の管理指導	・使った物の片付けは、各自あそびの後に、最後までしっかりと出来るように繰り返し指導した。継続した一致体制のもと、引き続き指導が必要。
	基本的生活習慣の確立	おやつを提供	・大塚消防出張所、山科警察署の方と連携を取り、よりよい訓練を実施することができた。 地震、火災、風水害などの災害時、不審者への対応、非常食についての学習など様々な訓練を実施することができた。
	社会生活技術の獲得	整理整頓 避難訓練・防犯訓練	
子 ど も 育 成 機 能	生活体験の拡大	お誕生会 (2) 手づくり工作 (3) みんなあそび (4) あそびの教室 (5) 交通安全教室	・学年が上がるとともに前に出てお祝いされることを恥ずかしがる姿もあり、誕生会には、写真付き記念ホルダーを渡して、仲間にお祝いをしてもらう特別な日と位置つけた。 ・子どもたちの集中力・創造力や器用さを身に着けることができた。子どもたちの意欲や個性がひきだせた。 ・普段一緒に遊ぶメンバーと異なる異年齢集団の中であそぶことにより、連帯感や仲間意識が芽生えた。 ・あそびのルールの再確認や様々なゲーム、工作、あそびを体験させることができた。 ・山科警察署の方に来ていただき、日常生活や登下館時において交通事故に巻き込まれないようにするために必要な知識や行動様式・交通ルールをゲームやDVDを交え交通ルールについて学ぶ。
		お弁当いらないディ 大塚わくわくランチ（昼食提供） 大塚モーニング食堂（朝食提供）	・昼食を提供することで、就労支援・子育て支援家庭保護者の負担軽減となった。 ・午前中は小学校の体育館で思いっきり遊び、1年の始まりを学童の仲間たちと楽しく過ごせる企画となった。 ・昼食を提供することで、就労支援・子育て支援家庭保護者の負担軽減となった。 ・子どもたちにとってもフードロスを学べたり、仲間と楽しく食事ができるよい機会となった。
	社会性の養成	お弁当いらないディ 大塚わくわくランチ（昼食提供） 大塚モーニング食堂（朝食提供）	・朝食を摂らず来館する児童からの声を受け、朝食を提供し、三食きちんと摂る環境づくりの取り組みを行った。 参加する子どもたちは朝食をお友だちと食べることがとても楽しみな様子であった。
		夏 みんなあそび わくわく夏祭り 大掃除 学童クラブお楽しみ会	・館庭にて、水鉄砲遊びや色水あそび、シャボン玉遊びなどをして季節に合った遊びを楽しむことができた。 事故のないように、安全に十分配慮して遊びを展開することができた。 ・昨年度とは異なり、学童クラブ児童のみを対象としたことにより、ちょうど良い規模で開催することができた。 ・全学年が協力して各部屋に分かれて大掃除をすることができた。 ・子どもたちが主体性を持って取り組むことができた。今年度は主にコーナー展開を中心としたパーティー形式で開催。イベント後には特別おやつを食べ、その時間にスライドショーを上映し、1年を振り返った。
子 育 て 支 援 機 能	子育てに必要な情報の提供と交換	学童だより（わんぱく通信） 個人懇談 事前登録説明会・入会説明会	・毎月の行事予定や子どもたちの様子などを掲載。 ・うえぶさくらでおたよりのデータを配信することで保護者に手早く行事予定や子どもたちの様子を伝えることができた。 ・以前は保護者連絡会を開催していたが、今年度から希望制で個人懇談を実施する形式を取った。 ・学童クラブの生活や前年度から導入した、ICTを活用した学童クラブの登録申請の申請方法や申請の流れを丁寧に説明した。
		ICTシステムうえぶさくらの活用・電話連絡・その他のおたより	・前年度からうえぶさくらを導入。アプリを通じて子どもたちの日々の様子で気になることや事故や怪我のあった際には速やかにお迎えに来られた際に保護者に伝えたり、状況によっては電話連絡をしたり、軽度の怪我であればうえぶさくらでメッセージを送信するなど、保護者との連携を図ることができた。
	子育ての仲間づくり	日常的な小学校との連携	・運動会への参観などを通して、子どもたちの小学校での様子を見ることができた。 ・配慮や気になる児童については学校の校長、担任等に相談し話し合う時間を持つことができた。
		地域との連携 関係機関との連携 ・京都市山科区役所 保健福祉センター ・子どもはぐくみ室子育て相談係 ・ヴェインテ ・にこの森保育園 ・ロマンの森「託児所」 ・若草保育園（洛和会） ・てくてく、小山児童園（洛和会） ・山科醍醐地区高等学校（2） ・山科醍醐地区中学校（10） ・京都市立東支援総合学校 ・南殿幼稚園 ・東山幼稚園 ・京都市立大塚小学校 など	・民生児童委員会に定期的に参加することでより連携を図ることができた。 ・大塚自治連合会の会長とも頻繁に連携をとり合い、地域の状況把握や広報活動に役立てた。 ・「にこの森保育園」とも連携して、様々な取組を実施できた。 ・各関係機関との連携を強化し、館長を中心として、協議や相談しやすい地域連携を強化した。

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市大塚) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 避難訓練	8	254	197	124	39	14					0	1		629	災害時や不審者への対応について訓練を行った。 大塚消防出張所などの団体と連携して消火訓練・放水体験・消防車見学会を行った。 上級生から歓迎を受け、プレゼントも進呈。
(2) 1年生を迎える会	1	36	37	27	9	3		0	0	0	0	1	0	113	
(2) 誕生会	12	417	305	126	44		6	0	0	0	0	2	0	900	毎月1回実施。みんなで、毎月の誕生者のお祝いをして、成長を共に分かちあう機会とした。
(2) 交通安全教室	2	56	24	13	4	2	0	0	0	0	0	0	0	99	山科警察署と連携し、2回（6月27日、1月16日）交通安全教室を実施した。
(2) 夏のみんなあそび	1	23	25	13	8	1	0	0	0	0		0	0	70	館庭で色水あそびや水鉄砲あそび、シャボン玉遊びなどをして、楽しんだ。
(2) 大塚わくわくランチ（こども食堂）	11	58	106	41	38									243	月1回昼食の提供をする。食育やフードロスについて学ぶ機会にもなった。
(2) 大塚モーニング食堂（こども食堂）	12	4	28	5	8									45	月1回朝食（パンやスープなど）の提供をする。
(2) 大掃除	1	6	4	3	3									16	役割分担し、高学年がリーダーとなって児童館の清掃を行う。
(3) 令和7年度登録事前準備説明会	1												23	23	令和7年度学童クラブ利用保護者（新1年生及び継続者）に向けて、令和7年度学童クラブ I C T に伴う事前登録事前説明を実施した。
(3) 入会説明会	2												17	17	新1年生の保護者を対象に令和7年度の入会説明を2回行い、周知を図った。
(3) 学童クラブだより発行	12	45	39	32	14	3								133	おたより配布及びホームページへのUPで次月の予定や子どもたちの様子を伝えた。
(2) 学童クラブお楽しみ会	1	25	23	13	4	1	0		0	0	0	0	0	66	3月に年度内最後の行事として開催。子どもたちが主体的に取り組み、わくわく夏祭りやハロウィンお楽しみ会、クリスマス会で展開した遊びの中から好評だったものを選びコーナー展開した。イベント後には特別おやつもあり、楽しい思い出作りの機会となった。
(2) 学童クラブ児童 利用者満足度調査アンケート	1	39	31	20	9	3		0	0	0	0	0	0	102	後期に1回、児童館・学童クラブ事業利用者アンケート（児童用）を実施している。また、別途、大型館行事開催のたびに、毎回終了後、感想など含めた利用満足度調査のアンケートを実施した。
(2) わくわく夏祭り	1	31	34	19	10	2								96	児童館内に射的コーナーやおばけやしきなどの遊びのコーナーを展開したほか、館庭にも遊びのコーナーを設けた。
(2) お弁当いらないディ	1	16	15	13	5	1								50	当日出席児童全員を対象とし、費用はおやつ代から捻出のため、徴収なしで昼食を提供。 午前中は思いっきり身体を動かすべく、小学校の体育館で集団あそびを実施。

*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること